

1年生学年だよ

平成 27 (2015) 年 9 月 1 日 (金)

第 26 号

吹田市立第二中学校第一学年

おーい！みんなー！がんばってるかぁ！

今回は「シンガーズ」部門の活動を紹介します。シンガーズはいったい毎日どんな活動をしているのか？

「ひたすら歌っている」「何度も何度も」

みなさんの想像はふくらむと思いますが、実は「ただ歌っている」というものではありません。彼らには重大な使命があります。1年生の文化祭の発表作品『ニチュウデジブリ』は、合唱劇です。つまりメインは合唱！



キャストがどれだけ素晴らしい演技を披露しても、大道具や小道具、衣装が目を見張るような派手な製作をしても、全員で仕上げていく合唱が観客に感動を与えられなければ、成功とは言えないのです。その心臓を支えようと決意しているのが、シンガーズなのです。

シンガーズには、使命があります。

- ①歌詞を完璧に覚えること。
- ②音程をはずさないこと。



みんなより先につくった紫色の楽譜は、彼らのプライドの証なのです。全体練習の場でも、彼らは紫の楽譜で歌います。

「私たちは間違えない！僕らについてこい！」そうやってみんなの先頭となり、合唱を引っ張っていくことが、彼らの使命なのです。

その使命を果たすために、毎日、意識の高い練習を重ねています。

しかし、意識は高くとも、そんなに簡単にうまくいくはずありません。



パート別に分かれて、何度も音取りをします。いったん全体で集まり、ハーモニーを確認し、またパート別に分かれてレベルを高めていきます。繰り返し、繰り返し、練習を重ねます。

昨日の練習でのことでした。

苦勞していた「君をのせて」のハーモニーが決まりました。3つのパートの歌い出しがそろいました。自分のパートの音程をはずさないことに必死になっていた彼らが、互いの声を聞きながら、美しいハーモニーをイメージできるようになってきているのが分かりました。

オーディションを勝ち抜いたキャストのように目立つ役割ではありませんし、活動の内容も見えにくい部門ですが、みんなで作り上げようとしている作品の、最も大切な部分を支えようと、努力を重ねています。合同練習やリハーサルなどで、「紫の楽譜」を持った仲間が、横にならんだら、安心してください。彼らは必ずや合唱を引っ張ってしてくれるはずですよ。

ハーモニーのメドもたち、今、「いつでも誰かが」を盛り上げる方法はないかと、考え始めています。

教室の大きな歌詞カードも、実はシンガーズでつくったんですよ。彼らは部屋にこもって練習をしているので、他の部門の様子が分かりません。呼びかけます！

「おーい！みんなー！がんばってるかぁ！！」